

令和2年度

公立甲賀病院組合一般会計歳入歳出決算書

公立甲賀病院組合

令和2年度公立甲賀病院組合一般会計歳入歳出決算書

歳 入

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1	分担金及び負担金	710,471,000	710,470,100	710,470,100	—	—	△ 900
	1 負担金	710,471,000	710,470,100	710,470,100	—	—	△ 900
2	財産収入	10,000	6,000	6,000	—	—	△ 4,000
	1 財産運用収入	10,000	6,000	6,000	—	—	△ 4,000
3	繰越金	764,000	1,189,372	1,189,372	—	—	425,372
	1 繰越金	764,000	1,189,372	1,189,372	—	—	425,372
4	諸収入	919,588,000	919,584,913	919,584,913	—	—	△ 3,087
	1 貸付金元利収入	698,706,000	698,703,784	698,703,784	—	—	△ 2,216
	2 雑入	220,882,000	220,881,129	220,881,129	—	—	△ 871
5	地方債	121,000,000	121,000,000	121,000,000	—	—	0
	1 地方債	121,000,000	121,000,000	121,000,000	—	—	0
歳 入 合 計		1,751,833,000	1,752,250,385	1,752,250,385	—	—	417,385

歳 出

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1	議会費	576,000	516,162	—	59,838	59,838
	1 議会費	576,000	516,162	—	59,838	59,838
2	総務費	233,312,000	232,790,559	—	521,441	521,441
	1 総務管理費	233,148,000	232,627,205	—	520,795	520,795
	2 監査委員費	164,000	163,354	—	646	646
3	衛生費	698,223,000	698,222,100	—	900	900
	1 病院費	698,223,000	698,222,100	—	900	900
4	公債費	698,706,000	698,703,784	—	2,216	2,216
	1 公債費	698,706,000	698,703,784	—	2,216	2,216
5	諸支出金	121,010,000	121,006,000	—	4,000	4,000
	1 病院貸付金	121,000,000	121,000,000	—	0	0
	2 基金費	10,000	6,000	—	4,000	4,000
6	予備費	6,000	0	—	6,000	6,000
	1 予備費	6,000	0	—	6,000	6,000
歳 出 合 計		1,751,833,000	1,751,238,605	—	594,395	594,395

歳 入 総 額

1,752,250,385

歳 出 総 額

1,751,238,605

歳入歳出差引残額

1,011,780 但し、翌年度へ繰越

令和3年 9月28日提出

公立甲賀病院組合管理者 岩永 裕貴

令和2年度公立甲賀病院組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

歳 入

(単位：円)

款	項	目	予 算 現 額					節	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	備考	
			当 初 予算額	補 正 予算額	継続費及 び繰越事 業費繰越 財源充当 額	計	区 分							
							金 額							
1 分担金及 び負担金			709,575,000	896,000	-	710,471,000			710,470,100	710,470,100	-	-		
	1 負担金		709,575,000	896,000	-	710,471,000			710,470,100	710,470,100	-	-		
		1 負担金		709,575,000	896,000	-	710,471,000	1 負担金	710,471,000	710,470,100	710,470,100	-	-	構成2市からの負担金
2 財産収入			10,000	0	-	10,000			6,000	6,000	-	-		
	1 財産運用 収入		10,000	0	-	10,000			6,000	6,000	-	-		
		1 利子及び 配当金		10,000	0	-	10,000	1 利子及び 配当金	10,000	6,000	6,000	-	-	定期預金利子
3 繰越金			764,000	0	-	764,000			1,189,372	1,189,372	-	-		
	1 繰越金		764,000	0	-	764,000			1,189,372	1,189,372	-	-		
		1 繰越金		764,000	0	-	764,000	1 繰越金	764,000	1,189,372	1,189,372	-	-	
4 諸収入			915,876,000	3,712,000	-	919,588,000			919,584,913	919,584,913	-	-		
	1 貸付金 元利収入		698,706,000	0	-	698,706,000			698,703,784	698,703,784	-	-		
		1 病院貸付金 元利収入		698,706,000	0	-	698,706,000	1 病院貸付金 元利収入	698,706,000	698,703,784	698,703,784	-	-	企業債償還分
	2 雑入		217,170,000	3,712,000	-	220,882,000			220,881,129	220,881,129	-	-		
1 雑入			217,170,000	3,712,000	-	220,882,000	5 雑入	220,882,000	220,881,129	220,881,129	-	-	共済掛金等	
5 地方債			217,800,000	△ 96,800,000	-	121,000,000			121,000,000	121,000,000	-	-		
	1 地方債		217,800,000	△ 96,800,000	-	121,000,000			121,000,000	121,000,000	-	-		
		1 地方債		217,800,000	△ 96,800,000	-	121,000,000	1 地方債	121,000,000	121,000,000	121,000,000	-	-	企業債借入
歳 入 合 計			1,844,025,000	△ 92,192,000	-	1,751,833,000		1,751,833,000	1,752,250,385	1,752,250,385	-	-		

3 衛生費	1 病院費		697,327,000	896,000	-	-	698,223,000			698,222,100	-	-	-	900	
			697,327,000	896,000	-	-	698,223,000			698,222,100	-	-	-	900	
		1 病院費	697,327,000	896,000	-	-	698,223,000			698,222,100	-	-	-	900	
								19 負担金補助 及び交付金	698,223,000	698,222,100	-	-	-	900	法人運営費負担金
4 公債費	1 公債費		698,706,000	0	-	-	698,706,000			698,703,784	-	-	-	2,216	
			698,706,000	0	-	-	698,706,000			698,703,784	-	-	-	2,216	
		1 元金	581,340,000	0	-	-	581,340,000			581,339,497	-	-	-	503	
								1 償還金、利子 及び割引料	581,340,000	581,339,497	-	-	-	503	企業債元金償還
		2 利子	117,366,000	0	-	-	117,366,000			117,364,287	-	-	-	1,713	
								1 償還金、利子 及び割引料	117,366,000	117,364,287	-	-	-	1,713	企業債利子
5 諸支出金	1 病院貸付金		217,810,000	△ 96,800,000	-	-	121,010,000			121,006,000	-	-	-	4,000	
			217,800,000	△ 96,800,000	-	-	121,000,000			121,000,000	-	-	-	0	
		1 病院貸付金	217,800,000	△ 96,800,000	-	-	121,000,000			121,000,000	-	-	-	0	
								1 病院貸付金	121,000,000	121,000,000	-	-	-	0	企業債貸付
	2 基金費		10,000	0	-	-	10,000			6,000	-	-	-	4,000	
		1 退職手当 基金費	10,000	0	-	-	10,000			6,000	-	-	-	4,000	
								25 積立金	10,000	6,000	-	-	-	4,000	退職手当基金積立
6 予備費	1 予備費		6,000	0	-	-	6,000			0	-	-	-	6,000	
			6,000	0	-	-	6,000			0	-	-	-	6,000	
		1 予備費	6,000	0	-	-	6,000			0	-	-	-	6,000	
								1 予備費	6,000	0	-	-	-	6,000	
歳 出 合 計			1,844,025,000	△ 92,192,000	-	-	1,751,833,000			1,751,238,605	-	-	-	594,395	

実質収支に関する調書

(単位：千円)

区 分		金 額
1	歳入総額	1,752,250
2	歳出総額	1,751,239
3	歳入歳出差引額	1,012
4	(1) 継続費通次繰越額	—
	(2) 繰越明許費繰越額	—
	(3) 事故繰越し繰越額	—
	計	—
5	実質収支額	1,012
6	実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	—

給与費決算調書

予算上の給与費

款	項	職 員 数		給 与 費				共済費 (千円)	合計 (千円)
		特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)	職員手当等 (千円)	計 (千円)		
1	議会費	10	-	470	-	-	470	-	470
	1 議会費	10	-	470	-	-	470	-	470
2	総務費	11	1	600	5,070	3,100	8,770	2,010	10,780
	1 総務管理費	9	1	450	5,070	3,100	8,620	2,010	10,630
	2 監査委員費	2	-	150	-	-	150	-	150
合 計		21	1	1,070	5,070	3,100	9,240	2,010	11,250

決算上の給与費

款	項	職 員 数		給 与 費				共済費 (千円)	合計 (千円)
		特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)	職員手当等 (千円)	計 (千円)		
1	議会費	10	-	470	-	-	470	-	470
	1 議会費	10	-	470	-	-	470	-	470
2	総務費	11	1	530	5,068	3,076	8,674	1,822	10,496
	1 総務管理費	9	1	380	5,068	3,076	8,524	1,822	10,346
	2 監査委員費	2	-	150	-	-	150	-	150
合 計		21	1	1,000	5,068	3,076	9,144	1,822	10,966

令和2年度公立甲賀病院組合一般会計負担金内訳

(単位：千円)

区分	一般会計分 ①	法人分 ②	合計負担金額 ①+②
甲賀市	7,019	510,578	517,597
湖南市	6,124	186,749	192,873
計	13,143	697,327	710,470

令和2年度公立甲賀病院組合一般会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書

令和2年度公立甲賀病院組合一般会計歳入歳出決算について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査した結果について別紙のとおり意見を提出します。

令和3年6月25日

公立甲賀病院組合

管理者 岩永 裕貴 様

公立甲賀病院組合

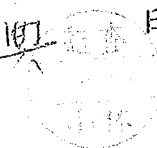
監査委員

田中暢太^日佳



監査委員

小林義興





記

審査日 令和3年6月25日(金)

審査対象 令和2年度公立甲賀病院組合一般会計歳入歳出決算

審査方法 審査にあたっては、本組合監査基準に基づき管理者から提出された令和2年度公立甲賀病院組合一般会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び基金の運用状況を示す書類等が、関係法令に準拠して作成されているか、その計数が正確であるかについて、関係諸帳簿、証憑書類、預金通帳等と照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して実施しました。

審査の結果 1. 予算の執行状況及び決算の内容について

審査に付された令和2年度公立甲賀病院組合一般会計歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつ計数も正確であると認めました。また、予算の執行状況及び決算の内容についても、適正であると認めました。

2. 行政監査について

日常の業務遂行状況を、主として内部統制やコンプライアンスの観点から、病院組合の業務遂行の基本となります各法令や例規集を参考に、四半期ごとに実施しました。

主な監査の具体的な内容は、次のとおりです。

①地方独立行政法人法の規定により設立団体が行うこととされる事項に関する内容を明確化すること。具体的には、病院組合の法人に対する役割や関係性を明確にすること。

②病院組合における法人に対する組織統治（ガバナンス）機能を明確にすること。

内容によっては強化すること。

（法人経営（特に収支実績）への対応、社会課題への対応、経営に重大な影響を及ぼすと考えられる事象への対応など）

③例規集全般の確認（概要確認）

④公印規程に沿った業務処理の確認とともに、公印使用時におけるリスク管理および公印保管上の管理を徹底すること。

その結果、9項目について16の指摘事項を挙げさせていただき、病院組合より決算監査時に指摘事項に対する対応方法や進捗状況が提示されました。

その内容といたしましては、実施済のものともに対応中のものがあり、次年度以降において引き続き対応されることを期待し、組合業務が適正に遂行されるよう確認していきたいと考えています。

3. 令和2年度の活動の総括について

決算処理時に、決算として単に数値の取りまとめにとどまらず、令和2年度活動報告として報告書をいただきました。

内容といたしましては、活動実績の振り返りや反省を行い、次年度以降に解決すべき課題を洗い出し、明確にされました。

これは、継続的に活動を続ける組織にとってはたいへん重要なことであり、評価されるべきと考えます。このようなことを今後も継続的に実施され、課題の解決を通じて組織のさらなる成長と発展を期待します。

4. 病院組合における法人に対する組織統治（ガバナンス）機能について

病院組合は、法人の設立団体として、法人に対して組織統治（ガバナンス）機能を有しているとのこと。

については、法人内の内部統制やコンプライアンス、監査の仕組みに任せることだけでなく、組織統治機能を発揮して法人経営に適正に関与することにより、法人が健全に経営され、地域の中核医療機関として発展し続けることを期待します。

一例として、次のような項目について

- ①病院組合の経営評価委員会が明確にした指摘事項の法人の事業計画への反映や実施状況の確認
- ②社会でその取り扱いが重要になりつつある社会課題（例えば、SDGsなど）への対応
- ③法人経営に重大な影響を及ぼすと考えられる事象に対する危機管理（あるいはリスク管理）への対応の確認

など

